第761回
立教開宗会
4月27日 午後2時より
日蓮宗管長
内野日総猊下御親修

御挨拶

謹啓　御一統様には愈々御清栄の段お慶び申し上げます。御案内御封筒の通り、宗祖大聖人御降誕八〇〇年慶讃並び旭が森銅像建立一〇〇年に向けて当山として霊場顕彰の為慶讃報恩記念事業を計画いたしました。

当山は、宗祖出家得度・立教開宗の霊場であり昭和二十四年改宗以来宗門僧俗一体となって御丹精をいただいて今日まで到っております。銅像建立一〇〇年の慶事に至っては真言宗時代の建立であり改宗の契機になったことは周知の通りであります。茲に改めて全宗門僧俗有縁の方々の絶大なる御厚情、御協賛を心よりお願い申し上げこの事業を完遂する所存でございます。

一々参上してお願いすべき処でございますが書状を以ってお願い致しますことをご容赦下さい。

合掌

平成二十五年二月吉祥日

大本山　清澄寺
日蓮宗管長　内野日総
別当　二宮日敬
執事長　宮崎雅宣

（宗報二月号にてのご案内状を掲載）

清澄

平成25年3・4月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322－1
© 清澄寺
TEL 04（7094）0525 番
FAX 04（7094）0527 番
振替 00140－5－55501
印刷所
天津 ㈲プラザー印刷
送料共1部100円

お知らせ

4月
27日14:00
立教開宗会法要
19:00
報恩唱題行
28日 4:50
暁天法要

5月
27日19:00
信行会（唱題行）

6月
27日19:00
信行会（唱題行）

本院の現状～勧募のお願い

本院既存の建物は崖渕に建っております。本院は、江戸時代の大玄関建物と大正時代の貴賓室と昭和30年代と40年代の宿坊建物で、建て増し構成されております。
今回、別当室・山務員寮までは手をつけられませんが、正面大玄関の二棟を中心に改修したいと考えております。

鎮火牛が安置されている本院の荒れた茅葺きの状態

江戸時代建立の大玄関

本院最奥の階段は朽ち果てて階段部分が全く無い状況

台所厨房の外観ですが、建物の基礎が崖にせり出し、浮いているようになっております。台風が来る度に揺れて、雨が降れば崖が少しずつ崩れて、建物自体いつ傾き落ちるかわからない現状。

食堂隣の天上も落ちています

雨漏りによって天上が腐り落ち畳は外してありますが床も朽ちている大広間。
ここは度牒や団参時に食事をして頂いていた大広間です。

何とも説明し難い状況の外回り➡

寺院版につき
前号・前々号内容含む

薪能（たきぎのう）

昨年の十月七日、午後六時より当山に於きまして、「一般社団法人・波の伊八鴨川まちづくり塾」主催、「NPO法人せんす」による『薪能』が上演されました。

能楽を一目見ようと、五時の開場前には百人を超す方々にお並び頂き、六時の開演には四百人もの人々にお越し頂きました。

開演直後ざわざわとしていた堂内も、狂言師の第一声に圧倒され、静まり返る程の迫力でした。

笑いの演劇である狂言は、どこか憎めない登場人物のキャラクターに、共感さえ覚えてしまう様な滑稽さが、観客を魅了し自然と場内からは笑いが起こっていました。

終了後は暗い夜道ではありましたが、演目についてお話しながら楽しそうに帰られる皆様のお姿に、改めていつの世も人々を魅了する伝統芸能の素晴らしさと奥深さを実感しました。

大晦日～年越し

七名が寒水を浴びるたびに参列者も合掌をし、一緒になって身心を浄めておりました。

水行式

除夜祭が終了してから準備の最終チェックなど山内は慌ただしさを増し、年が変わる直前の午後十一時三十五分より、恒例の水行式が行われました。日蓮宗大荒行を成満された村田執事補を導師に大森執事補、松本主事、小澤、藤平山務員、また法助に来られた遠山、林の両師、計七名にて行われました。

除夜の鐘

水行式が終了すると除夜の鐘が始まりました。十一時五十五分より二宮別當の挨拶があり、第一鐘が椎鐘されました。続いて片桐有而鴨川市長、東島鴨川市消防団長、今野護山会会長、参籠者から一般へと続きました。

新春一番祈祷

元旦の午前零時二十分より、全国御信者様からの、一番祈祷申し込み祈願札五百体が御宝前に奉安され、平成二十五年の年中安泰、年中無難、心願成就を祈っての新春一番祈祷が宮崎執事長導師のもと、八名の修法師により厳修されました。

虚空蔵菩薩から御利益を頂こうと、堂内に入りきれない程の参詣祈願者が参列しました。寒さ厳しい堂内で、参詣者一同神妙な面持ちで、一心に一年間の平安をお祈りしました。

その御祈祷の時間帯、本堂前はお参りの皆さんが並んでおりました。

節分会

二月三日、前日の悪天候で心配しましたが、快晴に恵まれた中、恒例の節分追儺法要が奉行されました。

清澄寺独自の「悟覚大桝」が御宝前に飾られた本堂では、早朝より地元漁業組合の皆様をはじめ多くの参拝者に節分特別祈祷がおこなわれ、全山に荒行堂成満の修法師による勇ましい読経の御音、木剱の妙音が響きわたっておりました。

午前十一時になりますと、研修会館大玄関より、地元消防団員の金棒を先頭に、二宮別當、片桐鴨川市長、清興出演の冠二郎さん、ご来賓の皆様のお練り行列がおこなわれ、冠二郎さんを一目見ようと集まった参拝者より大きな歓声が上がっておりました。

本堂に着きますと、二宮別當御導師により、節分追儺法要が厳修され、法要後、祖師堂特別ステージにおいて、参拝者の年中安泰、無病息災を祈り豆まきが行われました。

「福は内、福は内」と二宮別當の声高らかな発生のもと、豆まきがはじまると、境内を埋め尽くした参拝者は「福は内」という掛け声とともに飛んでくる豆を両手を広げて受け取っておられました。

その後、研修会館にて冠二郎さんによる清興がおこなわれ、「せいやー、せいやー」の掛け声に観客が呼応し、握手に笑顔で応じる冠さんのサービスと、館内は拍手喝采で盛り上がるステージになりました。

第5回 房総丘陵トレイルラン

三月三日に、南関東最後の原生林を有する山岳原野を走る県内最大のレース「第5回房総丘陵トレイルラン」が開催されました。

宮崎執事長が大鐘を撞き、片桐市長がスタートの合図をして厳寒の中、三〇キロメートルと十八キロメートルの二種目、壱千名近い参加者が一斉にスタートしました。その光景というのはまさにテレビ中継で見るマラソンスタートに近いものでありました。

実行委員会の皆さんの念入りな準備もあり、参加者のほとんどが大きな怪我や事故もなく無事完走されておりました。

青年僧侶の読誦会開催

地元日蓮宗青年会の年間行事の一つである、読誦会が三月六日・十七時より清澄寺信育道場を会場に行われました。青年僧十六名が参加し、中には本年荒行を成満された当山山務員二名（佐々木隆道師・荻野泰裕師）も参加、道場が震える程の大音声でお経があげられました。

当山が会場になったのは、山務員である大森執事補の意向があり、普段は担当になった会員の自坊で行われますが「是非清澄寺を会場としてお経をあげたい」という強い希望から当山を会場として開催される事となりました。

導師を務めた大森執事補は、「これだけたくさんの青年僧に参加していただき、一緒にお経をあげる事が出来て有難いです」とお礼を述べました。

道善御房 第七三八遠忌法要

三月十六日は日蓮大聖人の恩師（師僧）である道善御房の七三八回目の祥月命日でした。

朝勤終了後、宮崎執事長を導師に朝勤に出仕した山務員とともに道善御房の墓前にて報恩法要を厳修致しました。

読経、唱題に続いて、導師を務められた宮崎執事長は、道善御房への思いをつづった御遺文報恩抄の一節「されば花は根にかえり、真味は土にとどまる。この功徳は故・道善房の精霊の御身に集まるべし」と奏上し、御回向なされました。

山務員の退職・新採用者

この度、近年では珍しく大人数の山務員移動がありました。お参りの皆様には、ご不便をかけませんよう、一生懸命対応させて頂く所存ですので、よろしくお願い致します。

★**退　職・村田教行執事補**
師父・村田教清師が本山妙覚寺に晋山となり、多聞寺住職に就任のため退職。平成十三年より七五〇年で超多忙な時期より務められ前途有望な師で残念でなりません。

★**退　職・森本光恒師**
平成二十二年より山務。

★**新山務・藤平真祥師**
昨年十一月から臨時にて山務されておりました。

★**新山務・熊澤義陽師**
今まで堀之内妙法寺に山務されておりました。

★**新山務・柴崎海隆師**
身延・松井坊に随身

談話室

本号の二～三ページに掲載させて頂きましたが、本院の傷み方は尋常ではない状態です。

御寺院様には先月の宗報内に別紙印刷文を同封させて頂きましたが、山務員はこの建物の中で、日々の生活・宿泊・食事等をしております。

湿気の多いのが最大原因にはなっておりますが、大木の繁る中、鬱蒼としている環境も一因となっていると思います。

出費ご多端な折とは存じますが、何卒ご厚情賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

合掌